



【赤生津地区的農用地等面積】 360 ha

うち 【田】 298.4 ha 【畠】 60.9 ha

(農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積 312.9 ha)

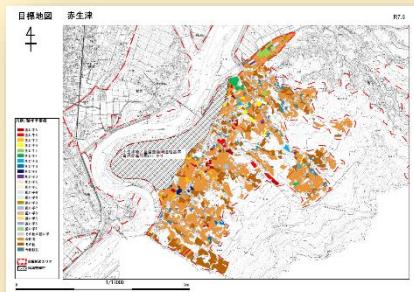
- ・今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積 合計 23.7 ha
- ・赤生津地区における 75 才以上の農業者の農地面積 合計 99.3 ha
- 主な生産品目： 水稻、肉用牛（肥育・繁殖）

(令和7年8月 26 日現在)

地域農業の課題

1. 基盤整備の未実施(第1区、第2区、第5区、赤生津中央地域活性化組合)
 - ─ 小さい田が多く、形が不揃い・石や湿地がある
 - ─ 小区画圃場と狭い農道
2. 大型機械による効率化困難(第1区、第2区、赤生津中央地域活性化組合)
 - ─ 区画が小さく、農道・水路も狭い
 - ─ 均一な配水が難しい(水路が狭小・延長も長い)
3. 農業者の高齢化・後継者不足(第1区、第2区、第5区、赤生津中央地域活性化組合、赤生津基盤整備促進委員会)
 - ─ 農用地の維持管理が困難
 - ─ 多くの農家が離農見込
 - ─ 耕作放棄地の増加懸念
4. 除草など作業負担の増加(第2区)
5. 有害鳥獣(イノシシ・シカ等)による農作物被害増加(第2区、赤生津中央地域活性化組合)
6. 水稲作付実施率の低下と草刈負担増(第5区)
7. 住民・農業者の減少による地域力の弱体化

赤生津地区の目標地図



地域計画は、奥州市内 45 地区で策定をしました。

地域計画は、地域の実情に合わせた取り組みを進めるため、地域の話し合いで出し合った「課題」や「今後の方向性」を取りまとめたものです。また、農地一筆ごとに 10 年後の耕作者を取りまとめた「目標地図」も作成されています。

このダイジェスト版は、地域農業の「課題」や「今後の方向性」を抜粋して作成したものです。

地域の現状は毎年変化していくものですので、年に1回程度、地域の皆さんで「課題はありますか?」、「困り事はありますか?」、「やってみたい農業はありますか?」など、話し合ってみてはいかがでしょう。

地域農業の方向性

- 1. 継続的な農地利用・保全
 - 中山間地域直接支払制度・多面的機能支払交付金の活用(第1区、第2区、第5区、赤生津中央地域活性化組合)
 - 担い手への集積・集約、日本型直接支払制度で営農が難しい農地の保全(全域)
- 2. 基盤整備・大区画化(赤生津中央地域活性化組合、赤生津基盤整備促進委員会)
 - 農道・水路・区画拡大、暗渠排水等の効率化事業
 - 基盤整備事業着工(R8年度予定)
 - 土地利用調整組織設立→農業生産法人への集積率85%目標
- 3. 経営多角化とスマート農業導入(赤生津基盤整備促進委員会等)
 - 水稲・畜産(肥育)複合経営
 - 高収益作物の導入
 - コスト削減・省力化(スマート農業)
- 4. 法人経営体確立と地域への定住者・後継者創出
 - オペレーター型農業生産法人設立
 - 農業経営の安定と生活環境・定住促進
- 5. 農地中間管理機構の活用
 - 貸借時の機構活用
 - 経営意欲・貸付意向の調整と面的集積
- 6. 鳥獣害対策・スマート農業・施設等(選択対応)
 - 電気柵、防護柵、免許取得者増、情報共有
 - 保全管理への日本型直接支払などの活用
 - 共同作業施設・格納庫等の整備
 - JA・県等の技術指導・人材育成

このダイジェスト版を「地域の話し合いに使いたい」「振興会に配りたい」などのご要望がありましたら、印刷してお渡しすることもできますので、下記までご連絡ください。

また、目標地図や他の地域計画は、奥州市ホームページに掲載しています。

*個人情報に該当する部分は掲載していません

■掲載ページ URL

<https://www.city.oshu.iwate.jp/soshiki/7/1057/2/chiikikeikaku/17284.html>

▶ 市ホームページでの検索方法

奥州市ホームページ→「情報を探す」→「ページIDを入力」の入力欄→「17284」を入力→検索

▶ スマホやタブレットなどで下記QRコードを読み込む



■問い合わせ…奥州市農政課人農地プラン推進室(TEL 0197-34-2371)

